

佐倉支部職場集会開催される！



80.3.13
No.374

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八〇九・(公衆電話)22七二〇七

三役・執行部参加のもと、生きた意見交換！ %動労千葉

佐倉支部は、3月1日佐倉機関区講習室において、動労千葉佐倉支部結成に向けた意志統一も含めて、職場集会を開催した。佐倉の仲間は、昨年3月30日動労千葉結成後、一年間にわたる多くの問題を乗り越え、「本部」反動集団のデマ宣伝と妨害がもた込まれる中で、悩み、苦闘を強いられてきた。こうした状況を突破するものとして、昨年11月16日の佐倉支部大会で選出された新執行部のもとで、「対話オルグ」、「職場集会」など精力的な取り組みの展開と、動労千葉各支部を含めた「オルグ行動・話し合い」の中で、情勢は大きく切り拓かれ、動労千葉への結集は力強く前進してきている。今回の職場集会は、そうした間の情勢を更に一歩大きく前進させるものとして支部の総力をあげてとりくまれた。今日目前に迫った国鉄35万人体制攻撃、さらには、八〇春闘をはじめ、様々な反動的諸攻撃と闘うためには、動労千葉の仲間とともに、スクラムを組み闘い抜く中で、組織強化を勝ちとらねばならないことが、多くの参加者に確認され、職場集会は成功裡のうちに終了した。

動労千葉佐倉支部結成に向けた意志統一と意見交換を！

堀口佐倉支部執行委員長あいさつ
佐倉機関区講習室に、多くの仲間が集まり、12時過ぎ、職場集会は始められた。

和田書記長の開会のあいさつ、司会で進められた集会は、冒頭、堀口支部長より「この集会をもつて、動労千葉への結集の最終的詰めとしたい、そのために、支部を含め、みなさんの忌憚のない意見をお願いしたい」という挨拶が行なわれ、続いて動労千葉を代表して、関川委員長長の決意と御礼のあいさつがされた。

本部からは、関川、西森、中野の三役をはじめ各執行部が参加したが、当面する情勢、とりわけ八〇年代の動向、80春闘の近況、そして動労千葉の取組みについて中野書記長より提起と、加えて、「組織の確立こそ前進につながるもので、佐倉支部の方々の奮闘と決起に動労千葉としても全力で応えて、銚子ともども取組みを強化したい」ことが力強く決意として述べられた。

運転職場労働者の利益を守り切る 闘いと組織体制をうちたてよう！

職場集会における意見、質問については、今日佐倉の仲間がかかえている不安、疑問点が代表的なことから卒直に出された。

- △ 組合費請求訴訟裁判の取組みについて
- △ 「本部」再建情報と日刊動労千葉では正反対のことが書かれており、真意はどうなのか。
- △ 超勤問題―基本協約について
- △ 動力車会館についての見通しは。
- △ 財政の展望と具体的な資料を提示してほしい。

- △ 組合費は現行でやれるのか。
- △ スト損賠の裁判はどうなっているのか。
- △ 地上勤務者の養成体系、「本部」はやらなかったエンジニアコース確立に向け闘ってほしい。

など、組織的課題、財政、さらには職場における日常的な諸問題についての質問が出され、本部三役による一問一答のなかでそれぞれ「組織・財政展望については充分やってゆける。心配ない」と、「会館は公労委で認知された独立した単組としての動労千葉として登記してあり、「本部」にとられるという事などありえない」こと等々、詳細な点にまでわたって鮮明な方向性が打ち出され、参加者の拍手とともに集会は閉会となった。

佐倉・銚子の仲間の決起にこたえ、 支部結成に向け全体でがんばろう！

佐倉における職場集会は、今日までの「本部」反動分子によるデマ情報、オルグを粉碎し、闘いとられた。

われわれは、佐倉・銚子の中で苦闘を続けつつ今だ結集しえない多くの仲間に対し、全ゆる機会をとおした呼びかけ、対話を通して全体の結集をはかるとともに、文字通り動労千葉11支部結成を闘いと、さらなる動労千葉の団結強化をつくりだし、ひとりひとりの団結の力で政府・国鉄当局に対決し、闘い抜いてゆかなければならない。

全組合員のみなさん！
佐倉・銚子支部結成に向けて、ともに奮闘してゆこう！

